

JA北九州ファーム株式会社

平成13年3月、株式会社北九州ジェイエイ畜産として設立しました。当初、ジェイエイ北九州くみあい飼料株式会社の100%出資である子会社でしたが、平成19年ならびに平成20年に、全国農業協同組合連合会大分県本部および全国農業協同組合連合会福岡県本部の各子会社と合併を行い、現在の株主出資構成となり、平成27年4月よりJA北九州ファーム株式会社へと社名変更しました。

当社は、福岡県、熊本県、大分県にて子豚生産の直営農場を展開し、そこで生産された子豚、また市場より購入してきた子牛を生産者に預けて肥育してもらう、肥育委託方式を行っており、生産者と共存した運営形態となっています。

私たちは、JAグループの一員として、地域に根ざした事業を展開するため、日々、飼養管理技術を磨き、その成果を生産者にフィードバックすると同時に、元気な産地づくりに取り組み、消費者の皆さまに安全・安心で美味しい豚肉と牛肉をお届けしています。

設立年月：平成13年3月

本社所在地：

福岡市中央区那の津5丁目3番1号
(ジェイエイ北九州くみあい飼料株式会社本社ビル内)

TEL：092-738-2002

FAX：092-738-2003

資本金：343.6百万円

従業員数：63名(平成29年4月1日現在)

株式状況(総株数4,337株)：

ジェイエイ北九州くみあい飼料株式会社	2,746株	63.3%
全国農業協同組合連合会	1,421株	32.8%
九州協同食肉株式会社	170株	3.9%

主な事業内容：

- ・家畜の飼育と生産販売事業、堆肥の生産販売と畜産生産資材の開発と販売
- ・養豚事業

種豚・子豚・肉豚の生産販売
直営子豚生産農場

直入農場／大分県竹田市直入町
長湯8572番21号

安岐農場／大分県国東市安岐町
吉松3457番92号

八女農場／福岡県八女市大字山
内1616番1号

玉名農場／熊本県玉名市箱谷字
東狩又1771番

肥育豚預託農場

白杵農場／日出預託農場／日田預託農場／糸島預託農場／久山預託農場／赤村預託農場／みい預託農場／大木預託農場／高田預託農場／芦北預託農場

・肉牛事業

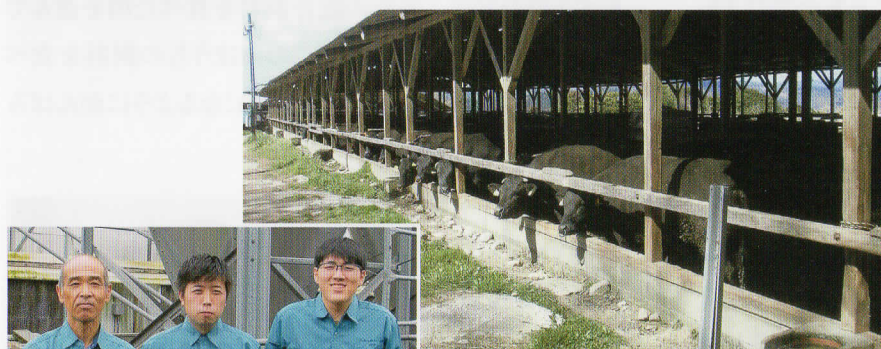
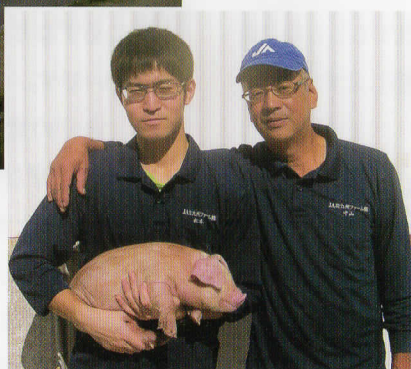
肉牛の肥育

肉牛肥育預託牧場

安岐預託牧場

芦北預託牧場

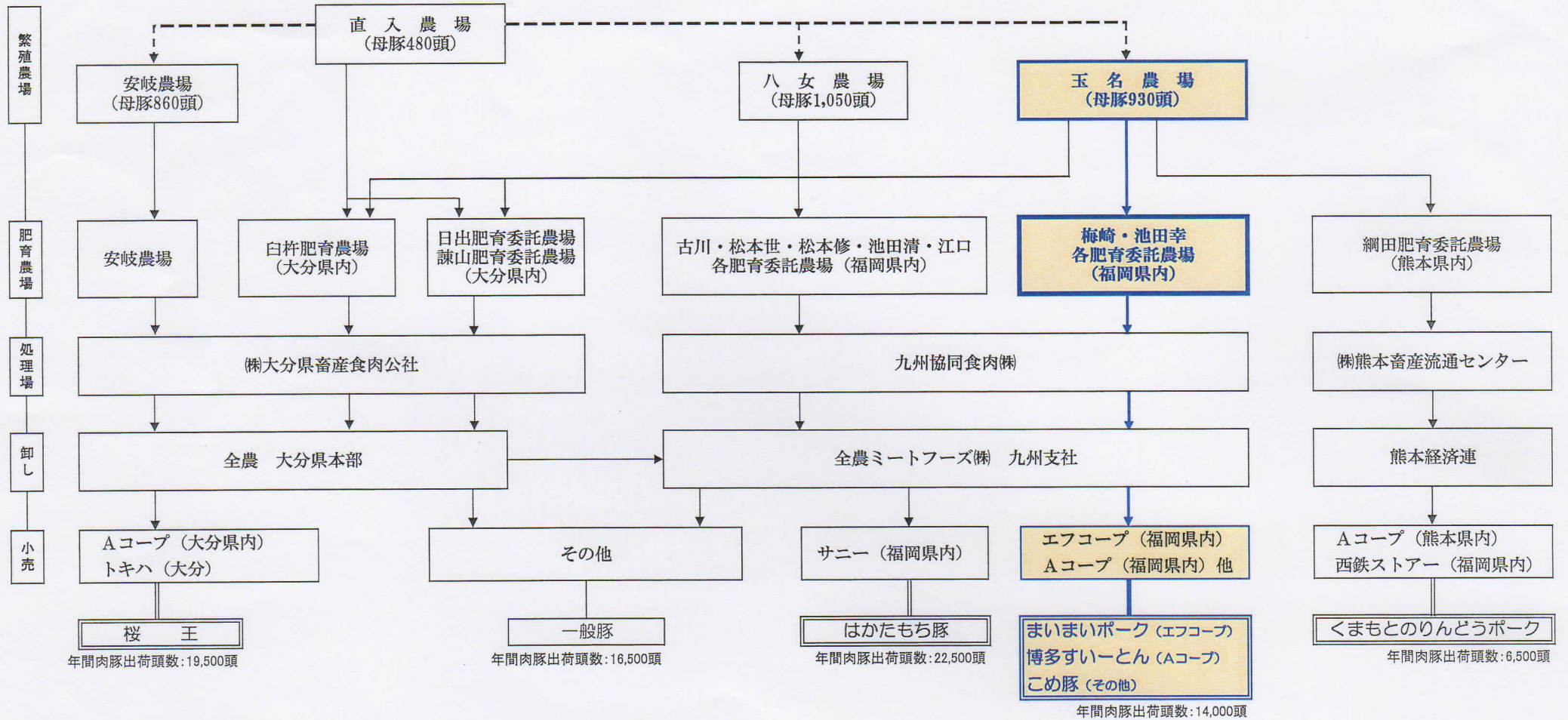
菊池預託牧場



沿革

年 月 日	特 記 事 項
平成13年 3月	ジェイエイ北九州くみあい飼料(株)の出資により、福岡市博多区中洲中島町に(株)北九州ジェイエイ畜産として設立。 資本金 3,000万円。 ハイコープSPF・F1種豚場・竹田養豚実験農場(大分経済連より継承)、みづま繁殖実験農場(福岡購販連より継承)の3農場体制でスタート
平成14年 4月	全農大分県本部より大分肉用牛繁殖実験牧場、大分肉用牛肥育実験牧場を継承
平成18年 4月	竹田肉用牛肥育実験牧場を開場
平成19年 4月	資本金増資 3億3,000万円へ
平成19年 7月	(有)エスイーダブル安岐ファームと合併 資本金 3億3,360万円
平成20年 3月	みづま繁殖豚農場を閉鎖
平成20年 7月	(有)エスピーエフ豚育成センターと合併 資本金 3億4,360万円
平成21年 3月	玉名ファームを開場
平成22年 3月	大分肉用牛繁殖実験牧場を閉鎖
平成24年 9月	大分肉用牛肥育実験牧場を閉鎖
平成26年 1月	本社を福岡市中央区那の津五丁目3番1号へ移転
平成26年 8月	竹田繁殖豚実験農場を閉鎖
平成27年 3月	竹田肉用牛肥育実験牧場を閉鎖
平成27年 4月	会社名を『JA北九州ファーム株式会社』へ変更 農場名を「直入農場(旧:大分SPF種豚農場)」「安岐農場(旧:安岐ファーム)」「八女農場(旧:SPF豚育成センター)」「玉名農場(旧:玉名ファーム)」へ変更
平成28年 8月	臼杵預託農場の施設を買い取り「臼杵農場」として直営化
平成29年 10月	直入農場の土地・施設を買い取る

J A北九州ファーム(株) 養豚事業体系図





JA北九州ファーム株式会社

玉名農場紹介

子豚の生産状況



当農場はSPF豚管理のため、防疫・衛生対策について万全を期すよう、人・車輛の入場ならびに資材の搬入を厳しく制限しております。



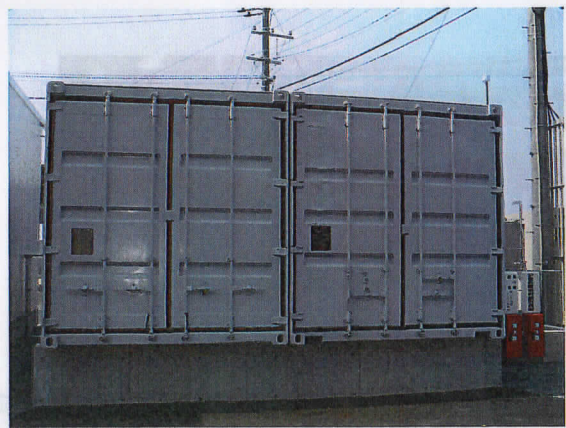
農場入口に設置された管理棟



従業員は全て管理棟内にあるシャワー室にて、シャワーを浴びた後、場内専用服に着替えて入場します。



車両については、農場入口に設置されている消毒ゲートを通過します。



農場内へ搬入する資材等は、この薫蒸庫にてホルマリン薫蒸後、搬入します。



隔離検疫舎

母豚候補豚は、概ね1ヶ月弱ここで飼養し、交配妊娠舎へ移動します。



手前が分娩舎、その隣が交配妊娠舎



交配妊娠舎は、母豚の大群飼育方式で飼養します。(1群:50~60頭)



フィードステーション。この中に母豚は1頭ずつ入り、エサを食べます。エサの量は全てコンピューターに管理されます。



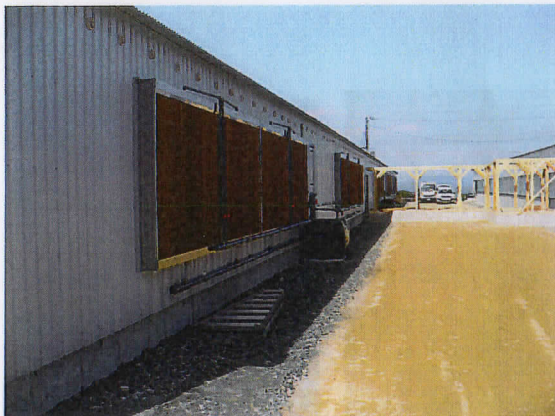
群飼房での母豚の飼養状況。母豚はこれまでのストール飼いと違い、各々好きな場所に寝そべっています。ストレスが少ないためか、母豚がゆったりとした感じです。





日本の養豚では、このようにストールにて飼養されるのがほとんどです。

交配時には、ストールにて飼養し、受胎確認後(約4週)、群飼房へ移動します。



分娩舎



分娩舎内の分娩豚房

妊娠母豚は、概ね分娩1週間前にこの分娩舎へ移動し、分娩を迎えます。



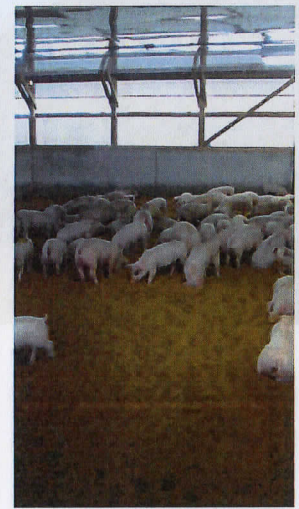
玉名農場では、平成 21 年 10 月 14 日より分娩が開始されました。概ね3週間で離乳を行い、母豚は交配妊娠舎、子豚は子豚舎へ移動します。



子豚舎(外観)



子豚舎内。土壌菌を利用し発酵させたオガ粉を敷き詰めてから子豚を飼養します。



子豚についても大群で飼養します。1週間分の離乳子豚を1棟(1室)でいっしょに飼養します。子豚は広々とした豚舎内を、子豚は元気よく走りまわっています。
この子豚舎では概ね7週間程度(体重約 30 kg)飼養し、肥育舎(肥育委託農場)へ移動されます。

肥育委託農場



みやま市高田町に新設された肥育委託農場



入口には部外者立入禁止の看板



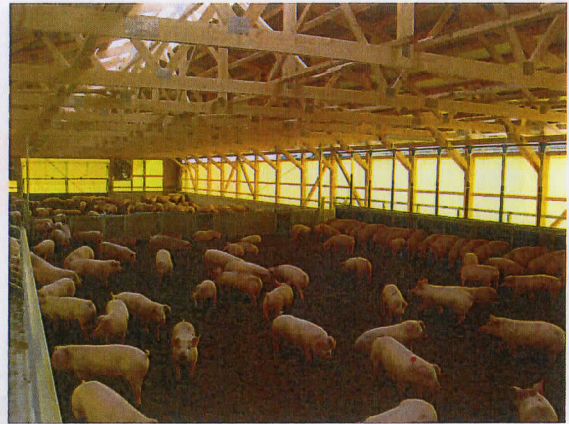
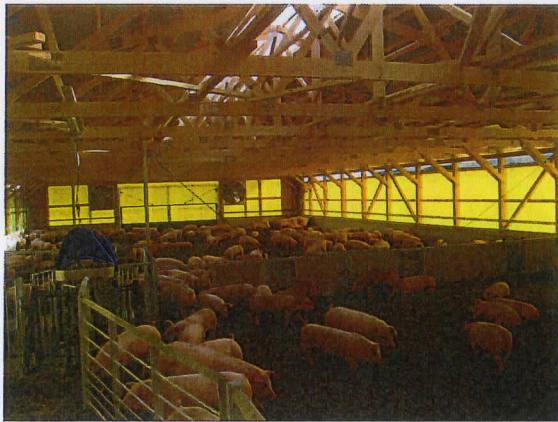
6棟の肥育舎(オールイン・オールアウト)



エノキの菌床と粃殻を利用した発酵床



H22. 3. 17が最初の導入



左の方にある機械はオートソーター
体重により仕分けすることが可能

<飼料給与体系>

